

水通信



2023.4.27 第191号

「水通信」は、水資源機構（主に中部管内）における取組に関する情報を、中部管内の関係者（県、市町村、土地改良区その他関係機関）の皆様方に、直接配信させていただいております。

目 次

※目次の事業所名等をクリックすると、その事業所等の記事に移動します。
各記事の事業所名をクリックすると目次ページに戻ります。

☆ [【巻頭言】](#)

○ 令和4年度を振り返って

中部支社 支社長 桑原 耕一

☆ [【中部管内水源情報】](#)

☆ [【インタビュー『水を支えるスペシャリストに聞いてみた』】](#)

☆ 《新着情報》

[中部支社](#)

○ 新任のあいさつ

豊川用水

- 静岡県土地改良事業団体連合会が豊川用水施設を視察されました
- 業務発表会を開催しました
- 新城有教館高校において出前講座を実施しました

木曽川水系連絡導水路

- 所内安全協議会を開催しました

愛知用水

- 愛知用水三好支線水路緊急対策事業完了報告会を開催しました
- 所内勉強会を開催しました

木曽川用水

- 新任所長のあいさつ
- 「伸びゆく木曽岬町のふれあい広場 2023」で当機構をPR

岩屋ダム

- 新任所長のあいさつ
- 放流ゲートの点検を実施しました

阿木川ダム

- 新任所長のあいさつ
- BS朝日のTV収録がありました

徳山ダム

- 徳山ダムに春の訪れを感じる

長良川河口堰

- 新任所長のあいさつ
- 危機管理対応訓練を実施しました

味噌川ダム

- 新任所長のあいさつ
- 味噌川ダム防災資料館(ふれあい館)、今年も開館します！

三重用水

- 新任所長のあいさつ
- 菰野駅伝大会が開催されました

☆【編集後記】

- 担当課 中部支社総務部総務課

巻頭言

○ 令和４年度を振り返って

中部支社 支社長 桑原 耕一

昨年は、春先から降雨量が少なく、梅雨明けの発表が異例の早さとなりました。渇水が心配されましたが、その後の降雨により水源の貯水量は回復し、用水を安定供給できました。今年は、昨年１２月から降水量の少ない状況が続きました。４月に寒冷前線が通過し、水源の貯水量は、三重用水を除いて平年並みまで回復しています。用水の安定供給に向けて、気象情報や水源及び水利用状況を注視し、関係機関等と情報共有を図りながら、的確な用水供給に努めてまいります。

昨年９月の台風１４号は、非常に強い勢力で各地に被害をもたらしました。治水ダムによる洪水調節に加え、利水ダムの牧尾ダム、宇連ダム及び大島ダムにおいて事前放流を行い、河川の水位上昇を抑えることができました。今年も、利水ダムも含めた既存ダムによる的確な洪水調節を、急速に発達する線状降水帯による集中豪雨も想定に入れながら、適切に行ってまいります。

中部支社管内の水路等施設については、老朽化が進んだ幹線や支線水路、揚水機場が多く残っていることから、更新事業を順次進めていく必要があります。次期事業の実施に向けて、令和４年度予算で創設した調査制度（農水は国費１００％）を活用し、愛知用水については昨年度から、豊川用水については本年度から調査を進めます。

昨年度は、平成３０年度から改修を進めている「愛知用水三好支線水路緊急対策事業」が完工しました。また、長年の懸案であった「木曽川用水濃尾第二施設改築事業」が認可を受けて、事業に着手しました。支線水路６４km及び揚水機場２２箇所を総事業費３５０億円、令和４～１８年度の１５年の工期で改修します。同時着工した愛知県営の地盤沈下対策事業「木曽川用水２期地区」と連携しながら改修を進めていきます。

明治用水頭首工の大規模漏水事故に対しては、昨年５月１７日に東海農政局から支援要請を受け、ポンプ車２台及びパッケージポンプ（ポンプ２台＋発動発電機２台＋クレーン付トラック）６箱、操作人員を直ちに現地に派遣し、矢作川から緊急取水を行いました。６月３日から７月２９日までは、仮設ポンプの維持管理に加えて、農業用水を４ブロックごとに分割して順番に給水する取組を支援するため、パイプライン末端における用水の到達確認、漏水箇所の把握や空気弁からの漏水対応を土日返上で行いました。人的支援は、延べ２３８人・日になりました。中部支社としても、各事務所等と連携した危機管理対応訓練をより実践的な取組に見直し、対応力の向上に務めています。

最後になりましたが、水資源機構の事業や管理業務の実施につきまして、引き続き皆様方の御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

中部管内水源情報

【中部管内水源情報】

中部管内の各ダムにおける4月26日現在の降雨及び利水貯水率については、下表のとおりとなっています。

木曽川水系の4ダム（牧尾・岩屋・阿木川・味噌川ダム）の4月降雨量は平年を下回る状況（平年比73%～100%）となっており、4ダム合計の貯水率は88%（平年比109%）と、平年を上回る貯水状況となっています。

豊川水系の宇連ダム及び大島ダムの4月降雨量は、平年を下回る状況（平年比93%～99%）となっており、豊川用水全体（宇連・大島ダム、各調整池）の貯水率は80%（平年比92%）と平年を下回る貯水状況となっています。

中部管内各ダムにおける4月の降雨及び利水貯水率（4月26日現在） 単位：（%）

	牧尾ダム	阿木川ダム	味噌川ダム	岩屋ダム	宇連ダム	大島ダム	中里ダム	徳山ダム
降雨の平年比	73	74	89	100	93	99	84	75
利水貯水率 （平年比）	73.4 (110.5)	97.3 (112.2)	100 (101.2)	99.9 (113.5)	73.4 (86.0)	88.6 (97.6)	70.9 (78.8)	100 (100)

・中部支社管内の各ダム貯水状況等は中部支社HP内の「水源情報」でご覧いただけます。

中部支社HP <https://www.water.go.jp/chubu/chubu/index.html>

「水源情報コーナー」

- ◆リアルタイム情報 <https://www.water.go.jp/mizu/chubu/realtime/index.html>
- ◆中部管内の水源状況（平日更新） <https://www.water.go.jp/mizu/chubu/report/>
- ◆ダム貯水状況グラフ、節水情報など
https://www.water.go.jp/chubu/chubu/sessuijyouhou05_1.html



ブレイクタイム ことわざ
【 情けは人の為ならず 】

・人に情けをかければ、巡り巡ってやがて自分にも返ってくるものである。人には親切にせよという教え。

インタビュー『水を支えるスペシャリストに聞いてみた』

中部支社メールマガジン水通信では、令和3年より新たなコミュニケーションツールとして、水資源開発施設の建設・管理に携わる「人」に焦点を当て、それぞれのスペシャリストにインタビューを行う『水を支えるスペシャリストに聞いてみた』を掲載しています。

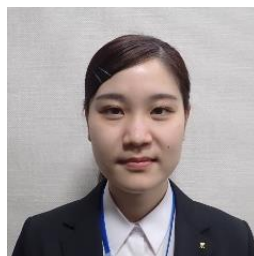
今回は、初めて中部支社で業務を担当する令和5年度新規採用職員3名から、仕事や私生活についてお話を伺いました。

〈Profile〉



大用 岳 *Takashi Oyo*
中部支社 総務部経理管財課

令和5(2023)年 採用
中部支社に配属



市川 千裕 *Chihiro Ichikawa*
中部支社 総務部利水者サービス課

令和5(2023)年 採用
中部支社に配属



伊藤 宏臣 *Hiriomi Ito*
中部支社 事業部設備課

令和5(2023)年 採用
中部支社に配属

皆さんは水資源機構（以下「機構」という。）に採用されてからまだ数日ですが、本日はお話を伺えたらと思います。まず、皆さんの学生時代の専攻やこれまで経験されてこられたことなど教えてください。

（大用） 学生時代は生態系の研究を行っており、環境問題に興味があります。

（市川） 学生時代は家政学を学んでいました。調理科学実習やブラウス・浴衣を作る被服制作実習など、実習授業をたくさん受けていました。

（伊藤） 学生時代は材料の研究等を行っており、機械を扱うことも好きです。

皆さんこれから慣れない環境かと思いますが、ストレス解消の方法や、今後名古屋市で行ってみたいことなどがあれば教えてください。

(大用) 小、中、高、大学とサッカーを、学生時代はフットサルをやっていました。

応援している横浜マリノスとこちらの地元の名古屋グランパスとの試合を近々見に行くのですが、いまから楽しみにしています。

フットサルも続けられればと思います。

(市川) 小学生の時からずっと変わっていない趣味である手芸は、これからも続けていきたいです。

名古屋の観光地を巡ったり、なごやめしを味わったりしたいと思っています。

(伊藤) ドライブが趣味で、地元の新潟や学生時代を過ごした秋田の観光地は制覇しました。

中部地方は初めてなので、ドライブでダムカードを集めたりしてみたいと思っています。

皆さん一人暮らしは初めてですか。

(大用) 初めての一人暮らしで、料理なども勉強中です。すこし家庭の味が懐かしいです。

(市川) 一人暮らしは今年で2年目になります。1年は経験しているので、少しは慣れています。

(伊藤) 学生時代は4年間一人暮らしでしたので、一人暮らしには慣れています。一人暮らしを楽しみたいと思います。

最後になりますが、今後、どのような職員になりたいと考えていますか。また、今回のコロナ禍における経験はこれまで誰も経験したことのないものであると思いますが、この経験をどのように役立てたいと考えられていますか。

(大用) 生態系について研究してきましたので、機構においても、是非、環境に関わる業務に携わってみたいと思っています。

(市川) インフラ関係の企業で働く両親の影響もあり、国民のためになる仕事をしたいと思っています。

(伊藤) 機械のことなら伊藤にまかせろと言ってもらえるような職員になりたいと思っています。

英語の技能を活かせる国際業務も是非やってみたいと思います。



■インタビューに答える3名

お忙しいところどうもありがとうございました。

皆さんにはこれから多くの経験を積み、周囲から頼られる職員となるよう成長を期待しています。

水資源機構中部支社では、水の安定供給を支える「人」に焦点を当てたインタビューコーナーを今後も特集として掲載していきます。インタビューに応えていただける方を募集しておりますので、ご協力の程よろしくお願い致します。



ブレイクタイム 四字熟語

【 一意専心 (いちいせんしん) 】

・他のことには心を動かされず、ひたすらに一つの物事に集中するという意味。

《新着情報》

中部支社

4月1日付けで中部支社に配属された次長以上を紹介します。また、中部管内においても、6事業所で新しい所長が着任したので、各事業所の中で紹介します。

○ 新任のあいさつ

★ 山本 政彦事業部長

4月1日付けで中部支社事業部長を拝命しました山本政彦と申します。これまで中部支社管内では中部支社および水路系事務所を中心に勤務してまいりました。前職場である本社水路事業部から2年振りに中部管内に復帰して参りましたので、よろしくお願いいたします。



今年は、年明けから少雨傾向であり春渇水が心配されましたが、3月、4月の降雨により、現在は一息ついた状況ではありますが、昨今の気象は極端に偏った天候であり、まさに異常気象であることから、常に水源状況には注視し、用水の安定供給に向けて関係機関の皆様と情報共有をはかって参ります。また、今後、洪水期を迎え洪水被害を軽減するため、管内職員共々万全を期し、ダムや河口堰による的確な洪水調節および利水ダム等における事前放流を的確に実施していく所存であります。

さて、水資源機構の経営理念であります「安全で良質な水を安定して安くお届けする」を実現するためには、適切な施設管理とともに、老朽化や耐震性能の低い施設の機能回復、耐震補強を的確に実施していくことが必要です。昨年度は、愛知用水三好支線水路緊急対策事業が完了し、現在、豊川用水二期事業と木曽川用水濃尾第二施設改築事業を実施しておりますが、管内には、老朽化した水路施設や揚水機場等の設備をいまだ多く抱えていることから、更新事業等を計画的に進めていく必要があります。そのためには、関係機関や利水者の皆様と連携した取り組みが必要不可欠と考えておりますので、引き続きご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

5月8日（月）からは、新型コロナウイルスの感染法上の分類も「5類」に引き下げられることから、今後は、関係機関の皆様との面談や対話を増やし、連携と信頼関係の構築を図っていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

★ 國枝 達郎事業部次長

4月から中部支社に事業部次長として参りました國枝達郎です。前任地は、三重県名張市にある木津川ダム総合管理所というところで、淀川水系木津川上流のダム管理を担当していました。当たり前ですが、木曽三川と淀川は、全く異なる川であり、流域住民の文化や生活も全く異なり、今回は距離的には近い転勤でしたが、この一週間、周辺環境の大きな変化に若干戸惑っております。これから関係者の皆様



とできるだけ多くコミュニケーションさせていただき、ご意見等拝聴しながら職務に励んでいきたいと思っておりますので、ご指導、ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。

ちなみに、私は過去の業務で、ネパール、ラオス、ベトナムをはじめ東南アジア、南アジアのいろいろな国で水に関わる仕事をさせていただきましたので、詳しい方がいらっしゃれば、そんな話もお聞かせいただいたりできればありがたいなと思っています。

豊川用水総合事業部

○ 静岡県土地改良事業団体連合会が豊川用水施設を視察されました

2月8日（水）、伊藤会長をはじめとする静岡県土地改良事業団体連合会の役員等12名の皆様が、静岡県の農業農村整備の参考とすることを目的として、県境を跨いで隣接する大規模かんがい事業地区、豊川用水の管理及び二期事業の実施状況等について視察されました。

当日は、宇連ダム、大野頭首工、大野導水併設水路工事、東西分水工において、機構から、各施設の管理概要、事業効果等を説明するとともに、天竜川水系（静岡県）からの流域変更が豊川用水の大切な水源となっていることの御礼の意を表しました。

今後とも、静岡県土地改良関係者・関係機関の皆様方のご理解とご支援を賜りながら、豊川用水の管理事業、二期事業の推進に努力して参る所存です。



■大野導水併設水路工事坑内の説明

○ 業務発表会を開催しました



■ 事業部会議室での発表会の様子

2月27日（月）、豊川用水総合事業部において令和4年度業務発表会を開催しました。本発表会は、若手職員のプレゼンスキルの向上や、日常業務での課題事項の共有などを目的に、毎年開催しています。本年度は、業務改善の取り組みなど14題の発表がありました。

豊川用水の中でも普段はなかなか関わらない方の仕事の内容を知ることができ、よい情報共有ができたのではないのでしょうか。各々プレゼン力も高く、内容もすばらしい発表でした。

○ 新城有教館高校において出前講座を実施しました

3月1日（水）に愛知県立新城有教館高校で農業を学んでいる食農サイエンス系列の2年生43名を対象として、豊川総合用水土地改良区と共同で豊川用水についての出前講座を実施しました。

当日は、豊川用水の成り立ち、ダム、調整池、幹線水路等施設の説明、また、農業用水など豊川用水の受益や現在施工中の二期工事などを説明しました。また、「豊川用水の水」と「市内で採取した水」の水質比較を、代表5人の生徒さんの協力でパックテストを使って実験を行い豊川用水の水質の良さを確認してもらいました。

講座終了時のアンケートでは、「豊川用水の歴史を知ることができて勉強になった」また、「改めて水の大切さを実感できた」という回答があり、今後も出前講座を実施して、豊川用水をPRしていく必要性を感じました。



■ 新城有教館高校での出前講座の様子

木曽川水系連絡導水路建設所

○ 所内安全協議会を開催しました

当建設所では事業による労働災害を防止し、業務を円滑に遂行するため安全協議会を設置しており、3月15日（水）に当該協議会を開催しました。

協議会では当建設所における令和4年度の安全重点目標や取り組み状況を振り返り、所内で行った職員等による事故防止への取り組みや発注業務における安全対策を紹介しました。

こうした取り組みの結果、令和4年度は交通災害や労働災害ゼロが達成されたことが報告されたほか、令和5年度の活動に当たっての取組目標等を議論し、「事故防止 心と時間に もつ“ゆとり”」を安全重点目標としました。

令和5年度もこれまでに引き続き、無事故・無災害に努めていく所存です。



愛知用水総合管理所

○ 愛知用水三好支線水路緊急対策事業完了報告会を開催しました

3月16日（木）に水資源機構中部支社主催による「愛知用水三好支線水路緊急対策事業完了報告会」が愛知県みよし市にあるカネヨシプレイスにおいて、愛知県大村知事をはじめ関係者約60名にご出席いただき、盛大に開催されました。

同事業は、南海トラフ地震防災対策推進地域内にあって堤体下流に大型商業施設や防災活動拠点を抱える三好池の耐震補強と、たわみが顕著なFRPM管約1km区間の布設替え等を行う事業として、平成30年度～令和4年度の工期で実施したものです。

水資源機構日置副理事長の式辞で事業完了の感謝を伝え、来賓挨拶では、愛知県大村知事から本事業の実施による農業振興と地域の安全・安心が増したことへの感謝の言葉に加え、今回事業実施のために三好池の水位を低下させたことに関し、自身が「池の水全部抜く」でテレビ出演した際のエピソードを交えた祝辞があり、会場内を和ませました。

その後、林愛知県議会議員、みよし市小山市長、東海農政局小林局長の祝辞のあと、愛知用水土地改良区久野理事長より、緊急性の高い事業が短期間で事業着手に至ったことに対し関係者の協力への感謝の言葉が述べられました。また、進藤金日子参議院議員と宮崎雅夫参議院議員からもビデオメッセージが寄せられ、会場内で上映が行われました。

本事業の実施によって三好池の耐震性が高まり、地域の安全・安心が確保されるとともに、支線水路の老朽化対策とあいまって農業用水の安定供給と維持管理費用・労力の負担軽減が行われ、都市近郊の立地を活用した高収益作物の拡大が期待されるところです。



■水資源機構日置副理事長の式辞



■愛知県大村知事の祝辞



■愛知用水土地改良区久野理事長の祝辞

○ 所内勉強会を開催しました

愛知用水総合管理所では、愛知用水に関するノウハウを共有するため、所内勉強会を開催しました。第1回は配水業務を担当する職員を講師として「愛知用水の水管理」について、実施しました。第2回は愛知県企業庁から出向で来ていただいている職員を講師として「愛知用水地域の水道、工業用水道事業」について、事業の概要、変遷、近年の課題等について実施しました。最終の第3回は愛知県農林基盤局農地部から出向で来ていただいている職員を講師として「愛知県における農業農村整備事業」について、愛知県農業の概要、食と緑の基本計画、県内の事業実施状況等について実施しました。

初めて知る内容もあり、今後の管理業務に活かしていきたいと考えています。今後もテーマを考え所内勉強会を企画して参ります。



■愛知県からの出向職員に講師をお願いした勉強会の様子

木曽川用水総合管理所

○ 新任所長のあいさつ

4月に木曽川用水総合管理所長として着任しました本田 毅と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

木曽川用水総合管理所では、木曽川右岸施設、木曽川大堰、濃尾第二施設、長良導水施設を管理しており、木曽川右岸施設、木曽川大堰、濃尾第二施設においては、昭和50年の木曽川大堰完成、同51年の上流部（木曽川右岸地区）、同52年の下流部（濃尾第二地区）の通水開始以来、40年以上にわたり施設の維持管理、農水、上水、工水の配水を行ってきました。また、長良導水施設においては、平成10年度から管理開始しています。



この間、木曽川用水施設緊急改築事業をはじめとする改築事業等により施設の更新事業を実施してきました。令和4年度からは、木曽川用水濃尾第二施設改築事業に着手し、地盤沈下の影響及び老朽化の著しい揚水機場及び管水路の改築に取り組んでいます。

これからも、「安全で良質な水を安定して安くお届けする」という機構の経営理念を果たすため、木曽川用水総合管理所では、管理事業と改築事業を職員一丸となって実施して参りますので、引き続き皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

○ 「伸びゆく木曽岬町のふれあい広場2023」で当機構をPR



3月19日（日）、伸びゆく木曽岬町のふれあい広場実行委員会の主催で「伸びゆく木曽岬町のふれあい広場2023」が開催されました。

このイベントは、町民の郷土意識の高揚と地域福祉への理解と普及を目指すとともに、町民相互のふれあいの場を提供することにより木曽岬町の産業、教育及び文化の振興に資することを目的に、町庁舎、駐車場等を利用して開催されています。コロナ禍の影響があったため、今回は4年ぶりの開催となりました。

このイベントでは、町内の特産品の販売、福祉・健康に関する相談コーナー、機器の実演等が行われました。また、会場内の特設ブースでは、各種団体による模擬店や一般参加者によるパフォーマンスが行われるなど、春の一日にたくさんの人達が訪れるイベントとなっています。

木曽川用水総合管理所として昨年も参加のエントリーをしましたが、コロナ禍のため中止となり、今年が初めての参加となりました。

初めての参加ということもあり、「水機構」「木曽川用水」を知ってもらうため、木曽岬町にも木曽川用水の「水」が、農業用水・水道用水・工業用水として利用されていることをPRしました。

当日は、天気も良く、小春日和で楽しい催しものもあり、気持ちがワクワクするような一日となりました。また、多くの町民の方々等とふれあうことができ、「水機構」「木曽川用水」を知って頂ける機会となりました。



■ オープニングメッセージ
～開会式～



■ 説明の様子

岩屋ダム管理所

○ 新任所長のあいさつ

4月1日付けで、岩屋ダム管理所長として着任しました中藺孝介です。これまで、中部管内では、阿木川ダム、徳山ダム（2回）、長良川河口堰において管理業務を経験してきましたが、今回、初めて岩屋ダムの管理に携わらせていただくことになりました。よろしくお願いします。

岩屋ダムはこの4月で管理を開始して47年目を迎えました。これまで、異常渇水や大規模洪水の発生もございましたが、関係者皆様のご理解・ご協力の下、安全で良質な用水の供給と洪水被害の防止・軽減、並びに電力供給を円滑に行って参りました。

引き続き、職員一丸となって岩屋ダムの所定の効果を達成するとともに、期待される上下流域地域交流の場としての役割についても貢献できるよう頑張っていきたいと思っております。今後とも、皆様からのご支援のほど、よろしくお願いいたします。



○ 放流ゲートの点検を実施しました

岩屋ダム管理所では、これから迎える洪水期に備え、4月11日（火）に放流ゲートの点検を実施しました。ダム管理に関わる機器や設備の点検を日頃から行い、確実にダムの設備を稼働できるようにしています。



■点検中のラジアルゲート（正面）



■ゲート（側面）

阿木川ダム管理所

○ 新任所長のあいさつ

4月より阿木川ダム管理所長を拝命しました佐藤 伸博です。千葉県の方総導水路管理所から参りました。

中部管内は愛知用水（二期）と徳山ダム（建設）以来20年ぶりの勤務となります。

また、ダム管理は草木ダム（群馬）と早明浦ダム（高知）に勤務しましたが、それぞれ特性が異なるため各現場で苦労した経験があります。

阿木川ダムも高水管理はもちろん、低水管理もシビアであり、加えて管理用発電の連携操作も必要と、なかなか特徴のある施設です。管理開始以降、主立った洪水被害が無いため、地域の皆様から全幅の信頼を寄せられておりますが、近年の気象現象を見ますと、雨量等でも前例が無い事象が全国で多々発生していますので、より一層警戒する必要が有りそうです。

引き続き地域の皆様から信頼が得られるよう努力して参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



○ B S朝日のTV収録がありました

3月21日（火）に、B S朝日放送の「石原良純の推しダム旅2」の番組収録のため、タレントの石原良純さん、箕輪はるかさん、前国土交通省の三橋さゆりさんの3名の出演者が阿木川ダムに来られました。

阿木川ダムではちょうどこの日まで、管理用設備の整備に伴い通常は防災操作時にしか行わない洪水調節用ゲート（オリフィスゲート）からの放流を実施していました。

出演者はダム直下から洪水吐きから流れ落ちる放流シーンの収録をスタートに、前武田管理所長の案内で、普段立ち入ることの出来ないアクセストンネルを経由して、ダム地下内の管理用水力発電設備を見学し、監査廊の役割などの説明を行いながらエレベータで堤体左岸（地上）に移動しました。

出演者はダム堤頂から眼下に広がる恵那市街の風景を見ながら堤体右岸まで移動され、最後に阿木川ダム管理所の門扉前でダムカードをお渡しして番組収録は終了しました。

阿木川ダムは国内でも珍しい市街地の近くにある中央土質遮水壁型ロックフィルダムで、出演者の皆様もたいへん興味深く感じられたようでした。

B S 朝日の T V 収録がありましたこの T V 放送は令和 5 年 4 月 1 4 日（金）の 2 2 : 0 0 より放送されました。これを切っ掛けとして、少しでも多くの方々が阿木川ダムについて関心を持っていただければ幸いと存じます。



■出演者 3 名記念写真（ダム直下）



■石原良純さんと箕輪はるかさん

徳山ダム管理所

○ 徳山ダムに春の訪れを感じる

今年の冬は、例年に比べ降雪が少なかったですが、それでも寒さは厳しかったですね。そんな徳山ダムにも、春の訪れを感じさせてくれる植物と動物があらわれました。

貯水池周辺にイワザクラとシャクナゲの花が咲いていました。また、国の特別天然記念物「カモシカ」が管理所付近に顔を出してくれたりと日ごとに暖かくなっています。

これからは、新緑が美しい季節になります。外出しやすい気候の日には、いつもより少し遠くへ、徳山ダムを目的地にしてみてもいいかもしれません。



■天然記念物「カモシカ」



■イワザクラ



■シャクナゲ

長良川河口堰管理所

○ 新任所長のあいさつ

4月1日付けで長良川河口堰管理所長を拝命しました荒川 敏之と申します。

関係の皆様方におかれましては、日頃より長良川河口堰の管理運営にご理解ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

長良川河口堰は平成7年4月に管理を開始して28年が経過しました。

この間、長良川の洪水を安全に流下させるためのゲート全開操作を199回実施するとともに、平常時にはゲート操作により、塩水の遡上を防止し安定取水を確保して参りました。また、魚道機能を確実に維持するとともに、アユをはじめとする魚類の遡上・降下に配慮したゲート操作、堰上流水域の水質保全など、環境に配慮した堰の管理運用にも努めて参りました。

これからも、関係の皆様方の声に耳を傾け、適時的確な情報発信を行うとともに、適切な河口堰の管理運用に努めて参ります。引き続きご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



○ 危機管理対応訓練を実施しました

長良川河口堰管理所において、2月7日（火）に危機管理対応訓練、2月15日（水）に中部支社との連携訓練を実施しました。

危機管理対応訓練では、大雨や地震等の危機が発生した時に必要なマニュアル、初動対応の内容、関係機関への連絡、記者発表の内容、想定される障害と対応方法、被災箇所周辺の安全対策の内容及び代替水源の確保等について、職員全員で検討と共有を行いました。

連携訓練では、中部支社から提示された被害想定に対して、初動対応についての確認事項や塩水侵入への対応について所内で検討し、その結果を中部支社へ説明しました。

長良川河口堰管理所では、いつ何時発生するかわからない災害に対して、的確かつ迅速に対応できるよう、中部支社とも連携し今後も定期的に訓練を継続していきます。



■ 危機管理訓練（2月7日）



■ 連携訓練（2月15日）

味噌川ダム管理所

○ 新任所長のあいさつ

本年4月に味噌川ダム管理所長を拝命いたしました市川 滋己と申します。前任地は栃木県鹿沼市の思川開発建設所で、南摩ダム及び近隣河川とダムを繋ぐ導水路の建設事業に携わっておりました。出身は三重県津市ですが、初めての中部管内での勤務となります。どうぞよろしくお願いいたします。



味噌川ダムは平成8年12月の管理開始以来、27回目の春を迎えました。ダム建設段階及び管理に入ってから長年にわたり、水源地域及び下流地域の皆様、ならびに関係機関の皆様には多大なご協力・ご支援をいただきましたことを心より深く感謝申し上げます。

近年、異常気象による甚大な洪水被害が各地で発生している状況にあります。そのため、関係利水者の皆様のご理解のもと、木曽川水系治水協定が令和2年に締結され、味噌川ダムにおいても事前放流の実施要領を制定し、必要なときに実施可能な体制を構築しております。また、味噌川ダムにおいては下流被害軽減のために放流の減量操作を行う特別防災操作についても令和3年の2回を含めてこれまで4回実施してきており、下流の被害軽減に貢献しているところです。今後も下流の洪水被害の軽減のため、味噌川ダムの治水機能を発揮していきたいと考えております。

また、低水管理においても異常気象による少雨もあり、ますますダムへの期待が高まると考えておりますので、これまでの管理の経験を踏まえて適切な操作を行い、安定的な用水供給に努めていきます。

さて、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、味噌川ダム水源地域において実施されていましたが、上下流交流イベントのほとんどは中止を余儀なくされておりましたが、昨年からは地域や関係機関の皆様と連携し、感染症対策に配慮しつつ実施可能な活動から少しずつ取り組みを再開してきているところです。今年は感染症対策に配慮しつつ、地域活性化の核となる活動を更に再開していきたいと考えていますので、引き続きご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 味噌川ダム防災資料館（ふれあい館）、今年も開館します！

昨年12月から休館しておりました味噌川ダム防災資料館（ふれあい館）が4月8日（土）に開館しました。各種イベント・展示会についても複数回の開催を予定しています。ダム見学とともにお気軽にお立ち寄りください！

詳しくはこちら <http://www.fureaikan.jp/>

三重用水管理所

○ 新任所長のあいさつ

4月1日付け、三重用水管理所長に着任しました三好 久雄です。
前任地は、吉野川水系の池田総合管理所副所長として、早明浦ダムなど4つのダム管理を行っていました。

今年、三重用水管理所は管理開始30年の節目を迎えます。三重用水の特徴は、8つの溪流から取水（溪流取水）し、5つのダム（調整池）で水の安定供給を行い、末端の水路施設までポンプを使わない自然流下方式で用水を供給していることです。

これからもその役割を継続できるよう施設の適切な維持管理、老朽化対策、耐震対策にも計画的に取り組み、安定した農業用水・水道用水・工業用水の供給に寄与していく所存です。

今後も関係者の皆様にはいろいろとお世話になりますが、どうぞよろしくお願いします。



○ 菰野駅伝大会が開催されました

3月5日（日）に三重用水管理所（菰野調整池）において、菰野駅伝大会が開催されました。参加数は32チームあり、寒い中熱戦を繰り広げていました。

三重用水管理所も参加し、水資源機構のPRに貢献できたと思います。



■ 真ん中13番が三重用水管理所チーム



編集後記

【担当課：中部支社総務部総務課】

今年も4ヶ月が過ぎようとしています。桜の開花も全国的に早まり、名古屋も3月中旬に開花し、4月には葉桜になってしまいました。

新型コロナウイルス感染症対策についても４月以降、徐々に緩和され、５月８日以降にはインフルエンザと同じ第５類に分類され、コロナ前の賑わいが戻ってきそうです。

中部支社周辺では、名古屋城でゴールデンウィークまで、天守閣の再建に使用する杉の切り株に、WBC で活躍した太谷選手の直筆サインを展示しているそうです。

また、この活気が戻りつつある新緑の季節に、中部管内のダム等を訪れて見てはいかがでしょうか。コロナ禍ではなかった開放感を味わえるのではないのでしょうか。



■名古屋城二之丸大手二之門

XX

今月の水通信はいかがでしたでしょうか。

「水通信」に対して、ご要望、ご意見等がございましたら、下記アドレスまでご連絡ください。

mailto:chubu_water@water.go.jp

『第 192 号は、6 月下旬に発行する予定です。』
バックナンバーをご覧になりたい方はこちら

<https://www.water.go.jp/chubu/chubu/mizutsuushin/mizutsuushin.html>

[illegible]

☆中部管内事業所のホームページアドレスは、以下のとおりです

中部支社：<https://www.water.go.jp/chubu/chubu/>
 豊川用水総合事業部：<https://www.water.go.jp/chubu/toyokawa/>
 木曽川水系連絡導水路建設所：<https://www.water.go.jp/chubu/kisodo/>
 愛知用水総合管理所：<https://www.water.go.jp/chubu/aityosui/>
 木曽川用水総合管理所：<https://www.water.go.jp/chubu/kisogawa/>

岩屋ダム管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/iwaya/
阿木川ダム管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/agigawa/
徳山ダム管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/tokuyama/
長良川河口堰管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/nagara/
味噌川ダム管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/misogawa/
三重用水管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/mieyosui/

発行者：水資源機構中部支社